

【2026年度入学生適用】

知的財産学部カリキュラム・マトリクス

- (1) 人文・社会科学、自然科学を含め、知的財産の創造、保護および活用を行う上で必要となる幅広い教養を身に付けそれらを活用できる。【基礎学力、教養】
- (2) 知的財産法を法体系に基づいて理解し、その理解を知的財産の創造、保護、活用のために応用することができる。【知的財産法の体系的理解力、法的思考力】
- (3) 知的財産の創造、保護および活用のために必要な技術、意匠、ブランド、コンテンツまたはビジネスに関する知識、ならびに知的財産を経済社会で活用するための実践的能力を身に付けそれを実践できる。【技術、意匠、ブランド、コンテンツ、ビジネスに関する理解と実践力】
- (4) 知的財産関連実務で生起する課題を自ら発見でき、その解決のため調査、検討を行うことができる。【問題解決力】
- (5) 知的財産のグローバルな創造、保護および活用を行うための、英語力と国際性を身に付け活動できる。【国際性】

1. 導入領域

授 業 科 目		単位数	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
導 入 領 域	基 礎 ゼ ミ ナ ー ル	2	学 び 方 と 学 び の 基 本 と なる 能 力 を 身 に 付 け る	◎			○	
	言 語 表 現 技 術 I	2		◎			○	
	言 語 表 現 技 術 II	2		◎			○	
	知 財 リ テ ラ シ ー	2		◎	○	◎	○	
	健 康 体 育 I	1		◎				
	健 康 体 育 II	1		◎				

2. 教養領域

授 業 科 目		単位数	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
英 語 科 目	受 信 英 語 I	1	グ ロー バ ル 社 会 で 使 え る 英 語 力 を 身 に 付 け る					◎
	受 信 英 語 II	1						◎
	発 信 英 語 I	1						◎
	発 信 英 語 II	1						◎
	資 格 英 語 I	1						◎
	資 格 英 語 II	1						◎
	法 学 英 語 基 礎 I	1			○			◎
	法 学 英 語 基 礎 II	1			○			◎
	メ デ ィ ア 英 語 I	1						◎
	メ デ ィ ア 英 語 II	1						◎
	メ デ ィ ア 英 語 III	1						◎
一 般 科 目	言 語 表 現 技 術 応 用	2	知 的 財 産 の 創 造 、 保 護 、 活 用 に 必 要 な 幅 広 い 教 養 を 身 に 付 け る	◎				
	哲 学	2		◎				
	倫 理 学	2		◎				
	美 術 史	2		◎				
	文 学	2		◎				
	歴 史 学	2		◎				
	心 理 学	2		◎				
	社 会 学	2		◎				
	日 本 の 伝 統 と 文 化	2		◎				
	化 学	2		◎				
	地 球 科 学	2		◎				
	生 物 科 学	2		◎				
	生 涯 ス ポ ー ツ I	1		◎				
	生 涯 ス ポ ー ツ II	1		◎				
	日 本 語 I	2		◎				
日 本 語 II	2	◎						
日 本 の 文 化 と 社 会 I	2	◎						
日 本 の 文 化 と 社 会 II	2	◎						

3. 専門領域

授 業 科 目		単位数	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5	
基幹科目	産業社会と知的財産	2	知的財産法を学ぶ上で基盤となる基本的な法律の基礎の理解を深める	○	◎	◎			
	権利侵害論	2			◎		○		
	私法入門	●2				◎	○		
	民法Ⅰ	2				◎	○		
	民法Ⅱ	2				◎	○		
	民法Ⅲ	2				◎	○		
	訴訟手続論	2				◎	○		
	公法入門	2				◎	○		
	行政法	2				◎	○		
	国際関係法	2				◎	○	○	
	経済学入門	2					◎	○	
	経営学入門Ⅰ	2					◎	○	
	経営学入門Ⅱ	2					◎	○	
	会計学	2			◎		○		
知的財産とビジネス入門	●2		○	○	◎	○			
情報活用基礎	2		◎			○			
知的財産法科目	知的財産法入門	2	知的財産業務の基本となる主要な知的財産法の基礎の理解を深める		◎	○	○		
	特許法・実用新案法Ⅰ	●2			◎		○		
	特許法・実用新案法Ⅱ	2			◎		○		
	特許法・実用新案法Ⅲ	2			◎		○		
	著作権入門	2			◎		○		
	著作権法	2			◎		○		
	商標法	2			◎		○		
	国際知的財産法	2				◎		○	
技術&専門科目	意匠法	2	ビジネスにおいて知的財産を活用するための基本的な知識や手法の理解を深める		◎		○		
	不正競争防止法	2			◎	○	○		
	大阪技術学	2			○		◎		
	現代技術と産業	2			○		◎		
	知財と機械・電気技術	2			○		◎	○	
	知財と情報・通信技術	2			○		◎	○	
	エレクトロニクス概論	2			○		◎		
	知財と化学・生命科学	2			○		◎	○	
	工業デザインと知的財産	2			○		◎	◎	
	現代技術と特許	2			○		◎	○	
	海外の知的財産制度概論	2					◎		◎
	特許手続	2					◎	○	
	マーケティングとブランド	2					◎	○	
	ブランドマネジメント	2					◎	○	
	デザインマネジメント	2					◎	○	
	コンテンツ知的財産概論	2					◎	○	
	コンテンツマネジメント概論	2					◎	○	
	コンテンツプロダクション概論	2					◎	○	
情報技術とコンテンツビジネス	2		○		◎	○			
海外のエンタテインメントと法	2		○		◎	○	◎		
文化と知的財産・ビジネス概論	1		○		◎	○			
メディア論	2		○		◎	○			
ベンチャービジネス論	2		○		◎	○			
イノベーションと企業戦略	2		○		◎	○			
経営戦略論	2		○		◎	○			
知的財産専門Ⅰ	2			◎		○			
知的財産専門Ⅱ	2			◎		○			

探求科目	特許意匠探求	6	知的財産に携わるために必要な知識の理解を深める	○	○	◎	◎	
	コンテンツ知的財産探求	6		○	○	◎	◎	
	ブランド&デザイン知的財産探求	6		○	○	◎	◎	
	国際知的財産探求	6		○	○	◎	◎	○
	知的財産経営探求	6		○	○	◎	◎	
	著作権ビジネス探求	6		○	○	◎	◎	
	地域知的財産探求	6		○	○	◎	◎	
科 研 究 目 的	研究基礎演習	●4	知的財産に関する専門的力量を培い、自分の研究をまとめ上げる	○	○	◎	◎	○
卒業研究		(4)		◎	○	◎	◎	○

4. 展開領域

授 業 科 目	単位数	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5	
実 践 英 語 科 目	ビジネス英語	2	知的財産の実務に使える英語力を身に付ける					◎
	英語プレゼンテーション	2						◎
	知的財産専門英語Ⅰ	2						◎
	知的財産専門英語Ⅱ	2						◎
展 開 科 目	展開ゼミナール a	2	これからの自分の人生設計を考えるとともに国際性を身に付ける	○	○	◎	◎	○
	展開ゼミナール b	2		○	○	◎	◎	○
	キャリア形成Ⅰ	2		◎		○	○	
	キャリア形成Ⅱ	2		◎		○	○	
	中国語コミュニケーション	1		○				◎
	中国語と現代中国事情	1		○				◎
	知的財産中国語	2		○			○	◎
	海外語学研修	2		○				◎
	知的財産インターンシップ	2		○		◎	◎	
	知的財産研修	2		○		◎	○	
キャリアゼミナール	2	◎				◎		

5. その他連携領域

授 業 科 目	単位数	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5	
連 携 領 域 そ の 他	基礎英語	1	英語の基礎力を定着させ、知的財産に関する知識を総合的に整理する					◎
	基礎英会話	1						◎
	O I T 概 論	1		◎	◎			
	インターンシップ	2		◎			○	
	知的財産総合入門Ⅰ	1			◎			
	知的財産総合入門Ⅱ	1			◎			
	知的財産総合応用Ⅰ	1			◎			
	知的財産総合応用Ⅱ	1			◎			
知的財産総合応用Ⅲ	1		◎					

(注1)「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

(注2) 背景色が黄色の授業科目は主要授業科目であることを表す。

(※) 本字では、卒業研究に単位は設定しており、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究が

DP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス